



越生町の

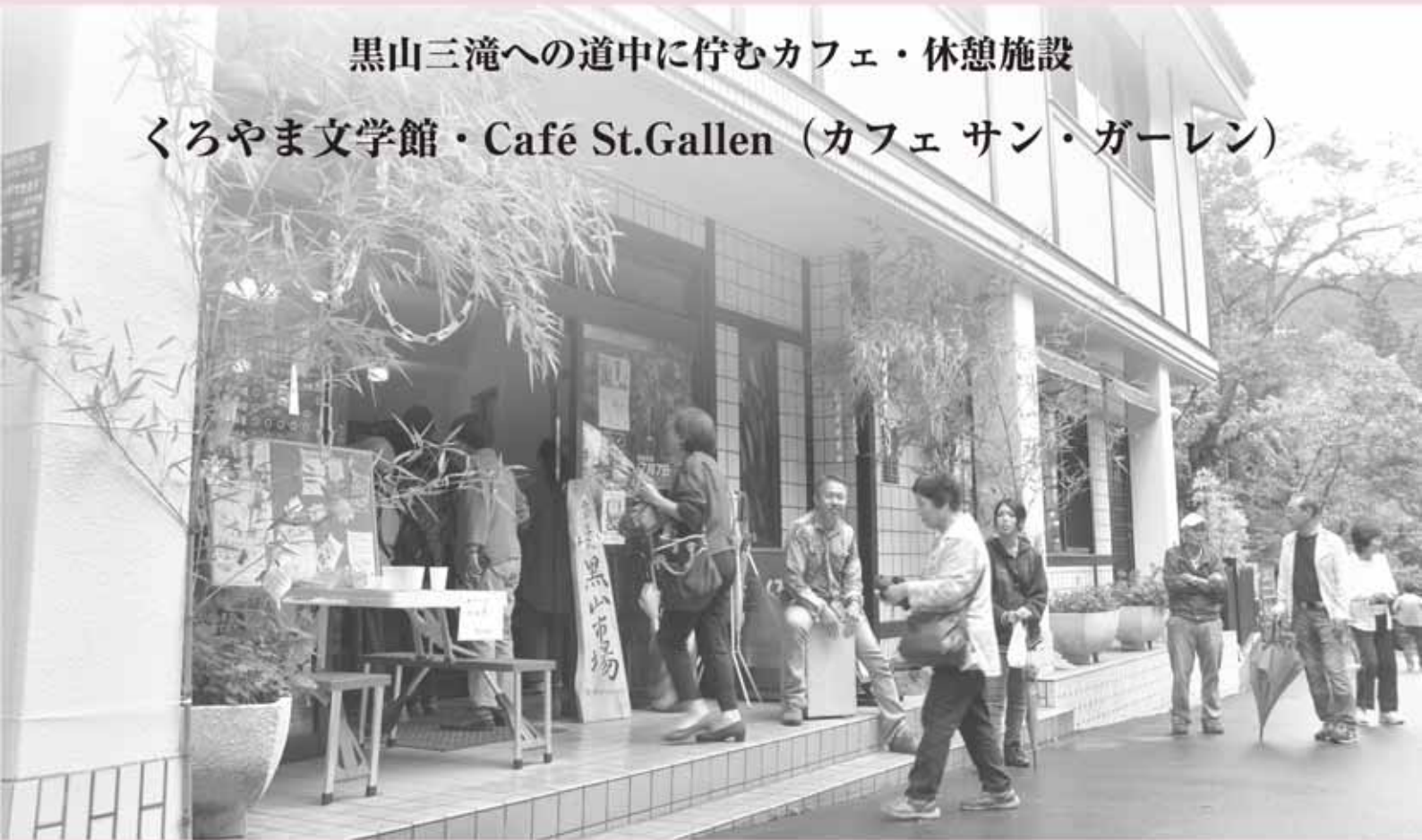
新 お出かけスポット



みなさんはこの夏、どのように過ごす予定ですか。海やプールに出かける方、連休を使って海外旅行に行く方もいるかと思いますが。予定がない？そんな方もまだ大丈夫。今月は今年新しく誕生した、この夏に行ってみたい越生町の新お出かけスポットを紹介しします。今年越生町で夏を満喫しましょう。

黒山三滝への道中に佇むカフェ・休憩施設

くろやま文学館・Café St.Gallen (カフェ サン・ガーレン)



旧黒山鉱泉館が新たなお出かけスポットに

4月27日、越生町の観光名所「黒山三滝」へ向かう道中にある旧黒山鉱泉館で、カフェ・休憩施設としてくろやま文学館と、Café St.Gallen(カフェサン・ガーレン)がオープンしました。

ゆっくり？知的に？

あなたはどっち？

この施設周辺は、町内でも気温が低めの地域なので、夏場も比較的気持ちよく過ごすことが出来ます。また、少し足を運べば黒山三滝に行くことも出来ます。「夏場は涼しい所でゆっくり過したい」と考えている人にはぴったりなお出かけスポットです。

くろやま文学館の特徴は、名前からも想像できるとおり、有名な文豪の書物に触れることができる場所。静かに珈琲を飲みながら文学の世界に浸ってみる。そんな「ちょっと知的」な休日をお過ごしたいという方にもおすすめの施設です。

高齢の方や10代・20代の方、小さな子どもまで楽しめる工夫もあるので、この夏はぜひ一度、家族や友人と一緒に足を運んでみてはいかがでしょうか。



心が弾むモニュメント

くろやま文学館（以下文学館）を訪れるとまず目を奪われるのが、道向かいのハートと「LOVE」のモニュメント。併設されているベンチに座って記念撮影もできます。「インスタ映え」スポットとしても注目。夏場は文学館左側でアイスクリームも販売しています。アイスクリームを片手にベンチに座れば、心も会話も弾みそう。



ゆつくりと流れる時間を過ごす休憩部屋

文学館では、休憩部屋（和室15室（内4室にユニットバス有り）・要予約）を借りて、プライベートな時間を過ごすことができます。休憩部屋には、過去の著名な文豪の名前が付けられていて、室内では、CD音声と壁に掛けられた写真で、それぞれの部屋名になっている文豪について知ることができ



おしゃれな空間 Cafe St. Gallien

文学館の右側にあるのはCafe St. Gallien（カフェサン・ガールェン）。「黒山三滝を訪れた帰りにちよつと休憩」というシチュエーションにぴったりなこのカフェでは、珈琲、酒類、ランチとスイーツを提供しています。赤いカーペットが張られた落ちついた雰囲気の内は、豊かな自然の中でゆつくりとした時間を過ごしたい人におすすめ。また、屋外には開放的なテラス席もあります。その日の天気や気分に合わせて楽しみ方ができるのも、このカフェの魅力です。

生わさびで食べる「手打ち文学そば」

7月20日からは、2階大広間で「生わさびで食べる手打ち文学そば」も開店します。そば好きの方は、要チェック。ぜひ一度味わってみたいものです。

施設概要

場所 越生町黒山大字1436 営業時間 午前9時～午後5時

定休日 月・木曜日（月曜が祝日の場合は火曜休み）

駐車場 施設向かい側（約20台分）

◆ 休憩部屋 ◆

部屋数 15室（4～8人、全和室）

料金 1部屋当たり1時間1000円、
半日3000円、1日5000円

予約 問へ電話予約

問くろやま文学館 問049-277-0021

